

【第2回石岡未来会議・振り返り】

文化ってなに？

文化ってなに？ほんとに！

- 誇りに思えるもの
- 共有して、幸せだな～って思えるもの
- 心を耕すこと
- 出会いで生まれるもの
- 地域に根差したアイデンティティ。地域を知って発信すること
- 体験して生活のなかに取り込んでいくもの
- 育てるもの

石岡市は、

文化をどんなものと捉えているの？

市民の自主的な文化芸術活動の活性化を目指す

石岡市 文化芸術推進基本計画

令和2年3月策定

文化の枠組み

芸術文化 (文学・音楽・美術・写真・演劇・舞踊・映画・漫画など)

伝統文化 (雅楽・能楽・文楽・歌舞伎)

芸能文化 (落語・漫談・漫才・歌唱)

生活文化 (茶道・華道・書道・食文化・囲碁・将棋・出版物等)

地域文化 (有形無形文化財・保存技術・固有の伝統芸能・自主的な文化芸術の鑑賞・参加・想像)

石岡市が考える文化

集う・発信する
支える・育む

文化芸術における現状と課題

■ 文化芸術における現状と課題

「文化芸術の振興に関するアンケート調査」結果により、本市の文化芸術を取り巻く現状を4つに分類し課題を設けました。

課題① 文化芸術への機会

気軽に参加できない

身近な場所で、気軽に文化芸術の鑑賞や活動に参加することができる機会が求められています。

課題② 文化芸術の情報

情報がない

多くの文化芸術活動が行われていても、そうした情報が市民に十分伝わっていない状況にあります。

課題③ 文化芸術の後継者

仲間の減少

文化芸術活動を行ってきた人々の高齢化が進み、仲間の減少や後継者不足につながっています。

課題④ 子ども・若者に対する文化芸術

若者のニーズ

将来を担う子どもたちへの機会の充実や若者のニーズに合った取り組み、支援が必要となってきます。

4つの視点

伝承と創造で未来につなぐ

伝える人と受け継ぐ人 創る人と観る人 そして新たな出会いのなかで

■ 4つの視点と重点目標

文化芸術を取り巻く環境の課題解決を図るため、「4つの視点」から、重点的な取り組み目標を設定します。

集う

毎日の暮らしの中で、身近に文化芸術に触れ合えることな**出会いのきっかけ**化芸術を創造・鑑賞・活動する機会を充実する。

発信する

文化芸術に関する情報を広く発信し、市民が鑑賞や体験、活動**知るきっかけ**きるような情報発信環境を整える。

支える

文化芸術活動を担ってきた世代の高齢化による仲間の減少や**伝えていけるひと**していくため、人材育成を支えていく。

育む

将来の文化芸術の担い手を育成するため、子どもや若者が**育てること**る機会の提供に努め、創造性や多様な価値観を育む。

4つの重点目標 その1 「集う」

1 集う

文化芸術活動の主役は、市民です。文化芸術を創る人（活動者）と観る人（鑑賞者）が、一体となって交流し合える場や空間づくりをしていくため、多くの市民が集うことのできる機会を提供・創出する取組みに努めていきます。

出合いのきっかけ

①市民の自主的な活動やイベントの場の提供

②文化芸術の創る人と観る人が交流し合える機会の提供

③様々な年齢層に応じた文化芸術に親しむことができる機会の提供

④文化芸術に日常的に触れることのできる機会の創出

⑤市民ニーズや時代の変化に対応した施設の整備

4つの重点目標 その2 「発信する」

2 発信する

市民の交流が活性化し、さまざまなネットワークが拡大していくためには、豊富な情報源が必要です。市民がどのような情報を求めているのかを的確に把握するとともに、誰もが文化芸術に関する情報を得ることができるよう情報の受発信機能の強化に努めていきます。

知るきっかけ

①世代や目的に合わせた情報の発信

②地域の特徴を踏まえた情報の発信

③文化芸術の魅力を活かしたシティプロモーションの推進

④文化芸術関係者のネットワークの構築

⑤歴史的・文化的情報の収集と発信

4つの重点目標 その3 「支える」

3 支える

文化芸術を創る人（活動者）の高齢化による減少や後継者不足に対応するため、文化芸術団体等と連携し、鑑賞・体験・講座・説明会等を通じて観る人（鑑賞者）が文化芸術活動に関心を抱くきっかけづくりに努めていきます。

伝えていくこと

①文化芸術団体の会員を増やす取組みへの支援

②地域特有の伝統・民俗芸能継承者の育成

③歴史的資源の保存・継承

④文化芸術活動を支える人材育成の支援

⑤文化財ボランティアの育成と文化財普及活動の支援

4つの重点目標 その4 「育む」

4 育む

子どもたちが多様な文化芸術に出会い、親しみ、創造性豊かな心を育てていくために、学校教育現場等との連携により、身近に文化芸術に触れられる環境づくりに努めます。また、多彩な才能をもった若者が、将来、文化芸術の継承・創造の担い手となるよう、新たな文化芸術を創出する機会の提供に努めていきます。

①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出

②若者の新たな創造活動への支援

③地域の身近な歴史や伝統芸能に親しむ機会の提供

④子どもの創造性を育み高める機会の提供

⑤親子で文化芸術に参加体験する機会の創出

育てていくこと

人との関わりの中かで

出会って知った「石岡の文化」を

どうやったら、

伝えて育んでいけるの？